

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	岐阜県
取組市町村名 取組団体・企業名	飛騨市
取組の名称	「小学校防災キャンプ～災害時の食支援～」
実施時期	令和元年7月14日(日)
取組内容	小学校PTA主催の「防災キャンプ」で「災害時の食支援」を小学生高学年親子に実施しました。 いろいろな防災プログラムの中で、ポリ袋を使用した家庭用真空調理、パッキングをしました。 各親子に浸水、圧縮、水をあふれさせるなどの方法で、ポリ袋を真空にしてもらい6品を調理。それぞれの食材は時間差をつけながら3.2.1の掛け声とともにお湯に入れました。サバの味噌煮缶は、缶詰を缶切りで切る体験をさせたいとのことで、親が見本を見せ、子供たちが、かわるがわる缶切り体験をしました。缶切りを初めて使う子供も多く四苦八苦していました。 調理できるまでの時間を利用し、パッキングについての注意点や災害時の食事について話をしました。また、食支援のほかに、ユニセフの「子供たちの権利条約」にもふれ、子供たちの権利を守ることの大切さも伝えました。災害時にもしっかりと食事と休養をとること、配慮が必要な場合は保健師や管理栄養士などに遠慮せず伝える事、心と体の健康についても話しました。 子供たちは楽しんで調理をし、昼食では非常食のアルファーマをお湯と水で戻したものの食べ比べもしました。パッキングで調理した食品は、味付けもよくおいしいと食べていた。親子で調理アイデアを出し合ったりと話が弾んでいました。
	 

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	岐阜県
取組市町村名 取組団体・企業名	岐阜県岐阜保健所
取組の名称	おいしく食べて食育推進
実施時期	令和元年9月17日
取組内容	《研修内容》 中小企業経営者 33 名を対象に食育講座を開催 ●「健康について一緒に考えよう」 健康について、「麺とごはんのセット」「朝食とモーニング」「みそ汁と漬物」「食べすぎ」等の話のあと、適度な量が「副菜は1日5皿程度」「純アルコールは20g以下」「野菜350g以上」などを紹介し、岐阜県の現状、健康課題を紹介、 ◆バランスのよい食事を意識 ◆食塩の過剰摂取 ◆野菜不足 ◆適量のお酒 に注意を促した。 ●その後：食育 SAT システムで実際に自分の食事の振り返りを行った。 内容はお盆に自分の食事の時の食品サンプルをとり、SAT システムに載せると、栄養バランスを計算し、評価をしてくれるシステム。かなり盛り上がるし、食生活の見直しを意識できる。という内容でした。 聞いていて飽きないという感想も主催者からあり、野菜の必要量にビックリする人や塩分についての学びがよくできていたと感じる方が多いなど好評であった。    《参加者の感想》 ○野菜の必要量の多さにびっくり。 ○他人事ではなく、自己の事としての研修だったので興味が持て、大変良かった。

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	岐阜県
政令指定都市名	
取組市町村名	岐阜県可茂保健所
取組団体・企業名	
取組の名称	ぎふ清流里山公園と協働した野菜ファーストイベントの実施
実施時期	令和元年7月20日（土）～8月31日（土）
取組内容	岐阜県民の野菜摂取量は、全国平均よりも少なく、どの年代も不足している傾向にあります。糖尿病などの生活習慣病を予防するためには、野菜摂取量を増やす働きかけが必要です。 そこで、飲食店や地元農家直送の野菜売り場を有し、岐阜県有数の数客施設である「ぎふ清流里山公園」と協働してイベントを実施しました。 ①飲食店において野菜たっぷりメニューを提供 「農家レストランやまびこ」にて、 「冷やし鶏塩野菜ラーメン」（野菜 150g）を、 「tunagu café」にて、「グリーンスムージー」（野菜 50g）を期間限定で販売しました。 いずれも保健所が栄養価計算やPOPを作成し、店内に掲示しました。 ②農園にて夏野菜収穫体験の実施 「里山農園」にて、夏野菜の収穫体験（7/20 及び 27）を実施しました。 ③地元野菜の販売 「青空市場」にて「地元野菜コーナー」を設置し、店内に保健所が作成した「管理栄養士おすすめレシピ」を設置しました。 ④のぼり旗の設置 園内各所に「野菜ファーストのぼり旗」を設置するなど、公園全体で野菜摂取量の増加を啓発しました。 ⑤野菜ファーストキャンペーンの実施 初日（7/20）に美濃加茂市食生活改善連絡協議会と協働で、公園入口にて野菜啓発リーフレットや野菜料理レシピの配布、野菜クイズなどを実施し、野菜の摂取を啓発しました。 岐阜県ホームページ http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/seikatsu-shukan/22708/yasaifirstproject.html

